

「ひらの青春生活応援事業」に関するいくつかのプロローグ 6

No. 8 ところで …… 予算プレスの際に、取材いただきました。

大阪市は、次年度の予算(案)の概要を、2月中旬に公表しており、この事業も、2016年度予算(案)で計上。全市でさまざまな事業がある中で、ありがたいことに、複数の記者さんに、取材していただいています。

事業の概要や考え方を説明し、いくつかの質問をやりとり。

いちばん最初に取材の記者さんから、心に残る温かいメッセージ(アドバイス)をいただきました。

- # 結果がでるには、時間も必要であろう。この事業で、ひとりでもふたりでも救えると良い。
- # 保護者ではない、昔の近所の人からの「ちょっとした声かけや世話焼き」のように、うまく機能すると良い。
- # がんばってもらいたい。

また、別の記者さんからは、継続的に取材していただき、テレビのニュースに取り上げていただいたこともあります。

取材を経験して、勇気と元気をいただくとともに、新たな緊張感を抱いたものでした。 本当にありがとうございました。

No. 9 プレゼンで …… 緊張の中、いよいよ事業者さんの決定です。

数社の方から、熱いプレゼンをいただき、審査の結果、一般社団法人 office ドーナツトーク さんに 決定。いよいよ、ドーナツさんとの歩みが始まります。ところで、事前準備をどうするか…。